

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉行財政と福祉計画		必修 (社・精) 選択 (心)	2	3.4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
樋川 隆	講師控室	kyoumu		授業終了時に質問等受付	
授業の目的・概要	<p>(目的) わが国の社会福祉政策を実践するために執行体制と財政構造及び機能の基礎的な理解をすることを目的とする。また、社会福祉計画の策定の意義と目的等についても基礎的な理解をすることを併せて目的とする。</p> <p>(概要) わが国の社会福祉行政、行政組織 (国、地方公共団体) と予算、執行体制等について、課題学習、同時双方向型授業を行う。課題学習におけるフィードバック、リアクションペーパーに対する応答等による意見交換等を行い各時間の学習内容の理解を深める。</p>				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中またはオフィスアワーで受付ける。				
教科書	福祉行財政と福祉計画 第5版 (新・社会福祉士養成講座 10) 編集: 社会福祉士養成講座編集委員会 出版社: 中央法規出版 随時資料プリントを配付する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	福祉政策を実施する行政と組織 (国、地方公共団体) の仕組みを説明することができる。			HSU (2)(4) 社・精	
②	財政の仕組み (国、地方公共団体) や運用方法を説明することができる。			HSU (2)(4) 社・精	
③	各行政レベルでの社会福祉計画策定の意義と考え方等が説明することができる。			HSU (2)(4) 社・精	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション、わが国の社会福祉の枠組みについて社会保障制度審議会勧告 (1950 年) を学習する。 フィードバック、意見交換は課題返却時に実施。	課題送付・課題提出・フィードバック	1950 年の社会保障制度審議会勧告第 4 編をまとめる。		4
2	社会福祉に関する法律の制定過程を学習する。 フィードバック、意見交換は課題返却時に実施。	課題送付・課題提出・フィードバック	福祉三法から六法へ発展した過程をまとめる。旧生活保護法と現行法の違いをまとめる。		4
3	福祉行政の執行方法と体制と関係させながら学習する。 フィードバック、意見交換は課題返却時に実施。	課題送付・課題提出・フィードバック	機関委任事務、団体委任事務、自治事務、法定受託事務についてまとめる。		4
4	社会福祉に関する法律、政令や規則、行政組織について学習する。 フィードバック、意見交換は課題返却時に実施。	課題送付・課題提出・フィードバック	居住地の社会福祉に関する組織及び都道府県の福祉事務所と市福祉事務所の事務範囲の違いを調べまとめる。		4
5	社会福祉基礎構造改革を学習する。 フィードバック、意見交換は課題返却時に実施。	課題送付・課題提出・フィードバック	社会福祉基礎構造改革についてまとめる。		4
6	国の社会保障関係予算 (一般会計と特別会計) について学習する。 フィードバック、意見交換は課題返却時に実施。	課題送付・課題提出・フィードバック	2020 年度の国当初予算の構造を調べまとめる。		4
7	地方公共団体の社会福祉関係予算について学習する。	課題送付・課題提出・フィードバック	山梨県予算を調べる。		4
8	福祉行政組織及び社会福祉専門機関 (福祉事務所、地域包括支援センター等) の専門職の概要を学習する。	同時双方向型授業	福祉機関の専門職を調べまとめる。		4
9	社会福祉法人の財源等を学習する。	同時双方向型授業	社会福祉法人について調べる。		4
10	福祉計画の目的と意義を学習する。	同時双方向型授業	福祉計画の目的を調べる。		4
11	福祉計画の類型を学習する。	同時双方向型授業	福祉計画の類型をまとめる。		4
12	福祉計画の策定方法を学習する。	同時双方向型授業	福祉計画の策定方法をまとめる。		4
13	福祉計画における福祉ニーズ把握方法を学習する。	同時双方向型授業	福祉ニーズ把握方法をまとめる。		4
14	福祉計画の評価方法を学習する。	同時双方向型授業	福祉計画評価方法をまとめる。		4

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

15	福祉計画の実際を学習する。	同時双方向型授業	福祉計画策定の留意点をまとめる。	4
試	定期試験			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		90	0	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	5	15

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	筆記試験で評価を行う。 試験では行動目標に関する基本的な知識を中心に確認する。	試験の評価と解説を配付する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
レポート	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	課題学習時の課題提出状況、同時双方向授業における討論参加状況等について評価を行う。 自分の意見をもって積極的に参加すること。	課題の解説を配付する。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

備考

Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。
 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。
 社会福祉に関わる財政や組織は、社会福祉政策を具現化するために必要なものである。社会福祉関係の業務に従事する立場として、今後の社会福祉政策や福祉計画を立案・策定する際に、財政と行政組織がどのようになれば最も良いアウトカムを住民に提供可能となるのかをイメージして受講して欲しい。
 教科書を中心に授業を行うため、毎週の授業の該当箇所を熟読して欲しい。
教員の実務経験： 山梨県庁社会福祉専門職として社会福祉行政一般、生活保護行政、児童福祉行政、障害福祉行政の実務経験。